CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

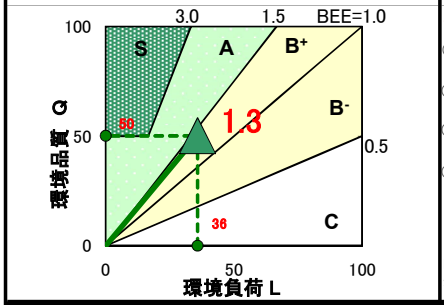
建物名称	(仮称)鳥飼6丁目計画 新築工事	階数	地上9階
建設地	福岡県福岡市城南区鳥飼6丁目23-	構造	RC造
用途地域	法22条区域、第一種住居地域、第二	平均居住人員	250 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年7月11日
敷地面積	2,308 ㎡	作成者	上村 絢茄
建築面積	1,077 ㎡	確認日	2018年7月11日
延床面積	5,278 ㎡	確認者	伊東 正太朗

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

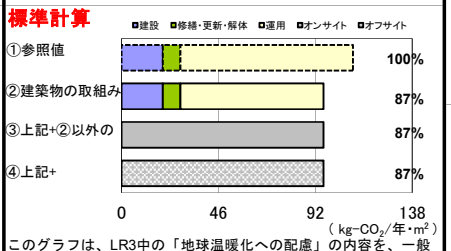
BEE =1.3 ★★★☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



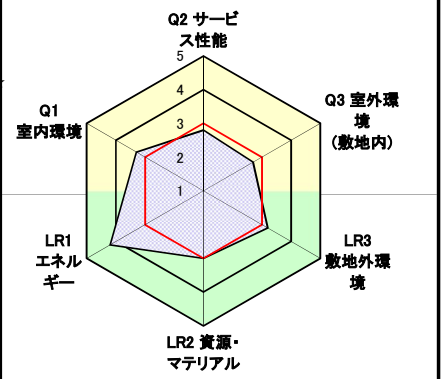
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

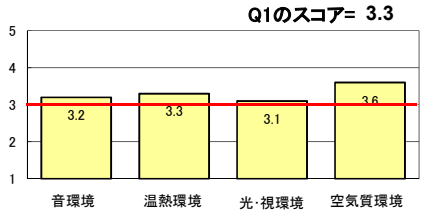
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



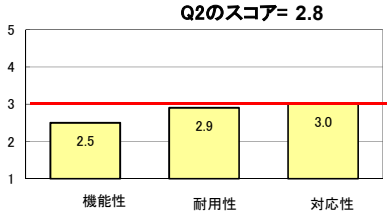
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 — Q のスコア= 3.0

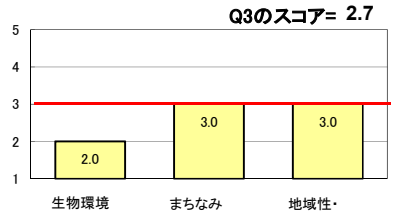
Q1 室内環境 — Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能 — Q2のスコア= 2.8

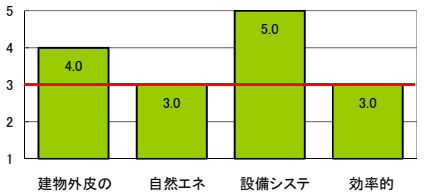


Q3 室外環境(敷地内) — Q3のスコア= 2.7

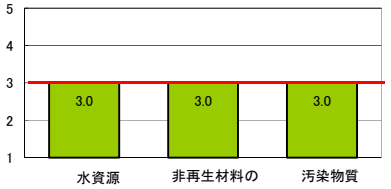


LR 環境負荷低減性 — LR のスコア= 3.5

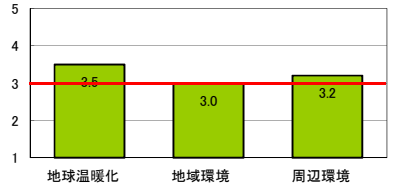
LR1 エネルギー — LR1のスコア= 4.2



LR2 資源・マテリアル — LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境 — LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
北側隣地への圧迫感に配慮し、建物配置を南側へ寄せた計画とした。また、周囲との環境の調和に配慮し、敷地周囲に緑地を配置した。		0
Q1 室内環境	**Q2 サービス性能**	**Q3 室外環境(敷地内)**
F☆☆☆☆建材を使用した。また、住戸間乾式境壁はTLD-55以上とする。	将来の更新を想定し、全室ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽを採用した。階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備えた。	敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー	**LR2 資源・マテリアル**	**LR3 敷地外環境**
住戸窓には複層ガラス及びLow-Eガラスを採用し、遮熱性を高めた。	断熱材は全てノンフロンを採用した。	適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、シャッターゲートを敷地境界線より奥まった位置に配置することで、交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される